

南山大学附属小学校 第3回「真教育」研究会

研究テーマ

「真教育」の探究 ～子どもの『宝玉』を 『引き出し・いかす』授業づくりを中心に～



「真教育」(児童中心の教育)

どの児童にも隠れた宝玉のやうな独創性や眠った能力が潜んでゐます。此の児童一人一人の独創性を見つけ能力を呼び醒まし、それに基く彼等の自発的な活動を中心として、新しいものゝ発見、未知の世界への探求へと導くやうな教育を根本に致します。従つて教へ込む教育ではなくて学ばせる教育であります。児童自ら観察し、実験し、比較し、思考して、自ら帰結に達し、原理を発見するやうに仕向ける教育なのであります。
(昭和11年「南山小学校入学案内」より)

日時 **2026年2月20日(金)** 13:00~17:00 (受付12:40~)

場所 **南山学園講堂・南山大学附属小学校**
〒466-0838 名古屋市昭和区五軒家町17-1

お申込みについては、
11月の2次案内にて詳細をお伝えします。
また、本校Webにて研究会情報を随時アップします。

「子どもの中に眠る『宝玉』を、どうすれば引き出し、いかすことができるのか。」

2019年度以来、久々に開催する今回の研究会では、その問いに向き合いたいと考えています。子どもたちは日々の学びの中で、驚くような発想や、自分なりの言葉、学び合いの価値を追い求める心を見せます。それはまさに、その子にしかない『宝玉』です。しかし、それは放っておいて自然に現れるものばかりではありません。私たち教師が、どのような学習活動を設定し、それに向き合う子どもの姿の中に「宝玉」を見出していか、それによって見えてくるものも、育っていくものも変わってくるのではないのでしょうか。とりわけ、本校が目指す「真教育」とは、知識を一方向的に与えるのではなく、子どもが自ら気づき、考え、問いを深めていく中で、その子らしい輝きを放ち始める教育です。教師が、その子のもつ輝きに気づき、仲間と共有したり、学びにいかしたりすることで、学び合いは深まり、一人ひとりの「宝玉」が意味と自信のあるものになっていくのです。研究会では、各授業の中に潜む子どもの「宝玉」を見つけ出し、その引き出し方・いかし方を共に考え、語り合っていきたいと思ひます。子どもと教師が共につくる学びの場の中に、教育の「不易」を見出していく、そんな時間にできたらと願っています。

12:40	13:00	13:30	13:50	14:35	14:55	15:45	15:50	17:00
受付	全体会 (南山学園講堂)	移動	公開授業 (南山大学附属小学校)	準備	グループ別 研究協議会	移動	全体講演会 富山市立堀川小学校 政二亮介 先生	

富山市立堀川小学校は、50年以上にわたり、子ども一人ひとりの内面にある願いや価値に寄り添う授業づくりを追究している学校です。13年間の堀川小での実践と、研究主任として研究を牽引されたご経験をもとに、目の前の子どもにどう向き合うかを、参加される皆さまと共に確かめていきたいと考えています。



南山大学附属小学校

TEL 052-836-2900 (担当 水越)
URL <https://www.nanzan-p.ed.jp/>
Mail sho-jimu@nanzan.ac.jp



本校HPはこちら